

# 地質標本館企画展「祝認定！ヘリテージストーン 天然石材遺産—筑波山塊の花崗岩—」の開催

森田 澄人<sup>1,2</sup>・都井 美穂<sup>1</sup>・藤原 智晴<sup>1</sup>・朝川 暉子<sup>1</sup>・清水 裕子<sup>1</sup>・  
福田 和幸<sup>1</sup>・中澤 努<sup>1</sup>・瀬口 寛樹<sup>1</sup>・武井 勇二郎<sup>1</sup>

## 1. はじめに

産総研地質標本館が位置するつくば市、その北縁に位置し関東平野を広く見下ろしているのが筑波山です。筑波山周辺を構成する花崗岩は、2024年、国際地質科学連合（International Union of Geological Sciences；以下、IUGS）によって世界を代表する天然石材遺産『IUGSヘリテージストーン』の一つに認定されました。地質標本館ではこれを記念して、企画展を開催するとともに、関連イベントとして講演会を開催しました。

## 2. ヘリテージストーン認定

IUGSでは、2016年に設立した科学委員会において、国際的価値が高く人類との関わりの歴史が古い天然石（主に石材）に対して、IUGS Heritage Stones（以下、ヘリテージストーン）を認定し公表しています。この活動には、それらの石材の地質学的価値や文化的な活用の歴史を広く世界に示し、持続可能な利用を後世に促す目的があります。そして、2024年に認定された石材の一つが『筑波山塊の花崗岩』です。IUGSは2024年までに世界の55の石材をヘリテージストーンに認定しており、その中で『筑波山塊の花崗岩』については、日本はもとより東アジアで初めての認定となりました（IUGS, 2024）。

『筑波山塊の花崗岩』は、地質学的には後期白亜紀から古第三紀に形成されました。地域ごとに「真壁石」や「稻田石」などと呼ばれ、古くから石造物や燈籠などの工芸品、迎賓館赤坂離宮、東京国立博物館表慶館、日本橋などの日本を代表する数々の近代建築などに用いられ親しまれてきました。このような筑波山塊の花崗岩に関する特徴や文化的な利用の背景、またヘリテージストーン認定の経緯などについては、杉原（2025）でたいへん詳しく述べられているので、ぜひご参照ください。

## 3. 企画展開催にむけて

IUGSによるヘリテージストーン認定の一報を聞き、地質標本館としては地元つくば市周辺の石材であり、東アジアからのヘリテージストーン認定第1号を一般にも早く広く伝えたい思いがありました。企画展開催の直接的なきっかけは、2024年11月2日～4日に笠間市で開催された「いばらきストーンフェスティバル2024」（茨城県石材業協同組合連合会、2024）で紹介されていた、つくば市役所ジオパーク室（筑波山地域ジオパーク推進協議会事務局）によるブース出展にありました。ブース内では、筑波山地域ジオパーク（筑波山地域ジオパーク推進協議会、2025）やつくばジオミュージアム（つくば市経済部観光推進課、2023）の紹介がもちろんでしたが、認定を受けたばかりのヘリテージストーンに最も多くのスペースが使用されていました。

その展示は関連する情報を網羅しており、ヘリテージストーンとしての筑波山塊の花崗岩を紹介するには十分な素材がそろっていました。当日は同室の杉原 薫氏がいらしたため、企画展開催とそのための資料借用について申し出、その場でご快諾いただきました。

後日、展示に使用されていたデータや資料を借用し、これらを用いて地質標本館仕様の展示の制作に取りかかりました。

## 4. 企画展の開催

2025年1月15日～3月2日の期間、地質標本館企画展「祝認定！ヘリテージストーン 天然石材遺産—筑波山塊の花崗岩—」を開催しました（第1図；地質標本館、2025a）。展示内容は、上述の通り、いばらきストーンフェスティバル2024で展示されたものをベースとしています。資料提供で大きく貢献いただいた筑波山地域ジオパーク推進協議会には、協力名義でご参画いただきました。

1 産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター

2 産総研 エネルギー・環境領域 再生可能エネルギー研究センター

キーワード：地質標本館、IUGS、ヘリテージストーン、天然石材遺産、筑波山、花崗岩、ジオパーク



第1図 地質標本館企画展「祝認定！ヘリテージストーン 天然石材遺産—筑波山塊の花崗岩—」のポスター。

開催場所は1階展示ホールとし、9枚の情報パネルと石材が使用された数々の建造物写真を15枚掲げました(写真1～5)。展示ケースには、IUGSによるヘリテージストーン認定証(写真6)や世界を代表する全ヘリテージストーンを掲載した冊子「The First 55 IUGS Heritage Stones」(写真7; IUGS, 2024)、および地域ごとの石材の違いを示した筑波山塊の花崗岩を代表する石材6種の紹介(茨城県石材業協同組合連合会)(写真8)を並べました。地質調査総合センター(GSJ)オリジナルの研究成果として、5万分の1地質図幅「真壁」(写真1; 宮崎ほか, 1996)を掲げました。また、あえて花崗岩標本は企画展スペースには展示せず、館内2階の「郷土の岩石」コーナーに展示された花崗岩類への案内パネルを掲示しました(写真9)。

## 5. 講演会の開催

2025年4月19日、ジオパーク室の杉原氏をお招きし、講演会「IUGSヘリテージストーンと筑波山塊の花崗岩」を開催しました(第2図; 地質標本館, 2025b)。杉原氏はIUGSヘリテージストーンの申請代表者で、認定までに最も尽力された方です。開催日は企画展の会期から外れていますが、春の科学技術週間および『地質の日』にちなんだ活動として



写真1 企画展のタイトルパネル(中央)、真壁石を使用した迎賓館赤坂離宮の写真(右上)、5万分の1地質図幅「真壁」(右下)およびヘリテージストーンを祝う幟(左)。



写真2 ヘリテージストーンと筑波山塊における近代石材業の解説パネル。



写真3 筑波山地域ジオパークの解説パネル。



写真4 筑波山塊の花崗岩を使用した近代建築等の写真。東京国立博物館表慶館（左上）、中央合同庁舎6号館赤れんが棟（左下）、日本橋（右上）、神田川白鳥橋の都電遺構（右下）。



写真5 筑波山塊の花崗岩を使用した近代建築等の写真。広島平和都市記念碑（左上）、最高裁判所（左下）、石の百年館（右上）、つくばセンター広場（右下）。

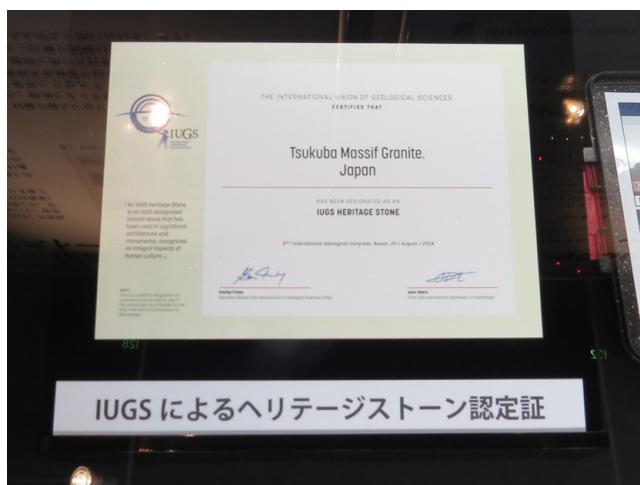


写真6 IUGSによるヘリテージストーン認定証。

位置付けました。

講演では、地質の概要から筑波山周辺を構成する花崗岩、それらが利用されてきた歴史等が説明され、IUGSへのヘリテージストーン申請から認定までの裏話など、盛りだくさんの内容でご紹介いただきました（写真10）。

聴講者は茨城県内から広くご来館いただくとともに、東京、千葉、神奈川など県外からの方もいらっしゃいました。アンケートでは、勉強になった、面白かった、分かりやすかったとの回答が大半で、具体的には、地域の花崗岩を広い視野でとらえる面白さを感じた、歴史的な建造物とのつながりが明確に示され興味が広がった、筑波山系の花崗岩の素晴らしいしさを改めて知り、本物の石を見に行きたい、などの意見がありました。



写真7 IUGSによる全55のヘリテージストーンを掲載した冊子「The First 55 IUGS Heritage Stones」(左:IUGS, 2024)と『筑波山塊の花崗岩』を掲載した部分の抜粋コピー。

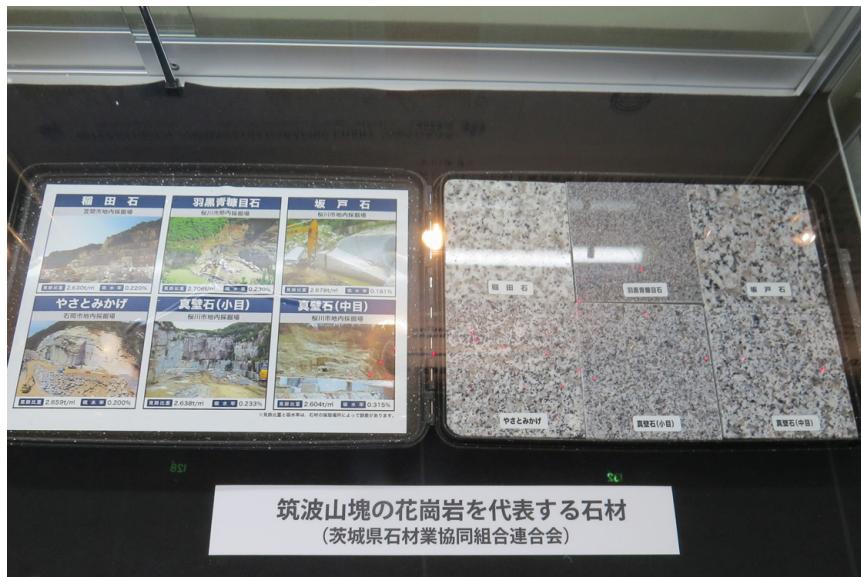


写真8 筑波山塊の花崗岩を代表する石材(茨城県石材業協同組合連合会)から6種の研磨サンプル(茨城県石材業協同組合連合会から借用)。

## 6. おわりに

最後に、企画展の開催をご快諾いただきとともに多くの展示素材をご提供いただいた、つくば市役所ジオパーク室(筑波山地域ジオパーク推進協議会事務局)、講演会でご登壇いただいた同室の杉原 薫氏、および展示素材をご提供いただいた茨城県石材業協同組合連合会に謹んで御礼を申し上げます。

## 文 献

地質標本館(2025a)【速報】地質標本館企画展「祝認

定!ヘリテージストーン 天然石材遺産—筑波山塊の花崗岩—」. [https://www.gsj.jp/Muse/event/archives/20250115\\_event.html](https://www.gsj.jp/Muse/event/archives/20250115_event.html)(閲覧日:2025年8月20日)

地質標本館(2025b)地質標本館講演会「IUGSヘリテージストーンと筑波山塊の花崗岩」. [https://www.gsj.jp/Muse/event/archives/20250419\\_event.html](https://www.gsj.jp/Muse/event/archives/20250419_event.html)(閲覧日:2025年8月20日)

茨城県石材業共同組合連合会(2024)ストーンフェスティバル. <https://www.isi.or.jp/stonefes.html>(閲覧日:2025年8月20日)

IUGS (2024) The First 55 IUGS Heritage Stones.



写真9 館内で観察できる筑波山塊の花崗岩を案内。2階の「郷土の岩石」コーナーにあります。



写真10 杉原 薫氏による講演会「IUGSヘリテージストーンと筑波山塊の花崗岩」の様子。



第2図 地質標本館講演会「IUGSヘリテージストーンと筑波山塊の花崗岩」のポスター。

International Union of Geological Sciences, International Commission on Geoheritage, Subcommission on Heritage Stones, <https://iugs-geoheritage.org/publications-dl/IUGS-FIRST-55-STONES-WEB-BOOK.pdf>  
(閲覧日：2025年8月20日)

宮崎一博・笹田政克・吉岡敏和(1996) 5万分の1地質図幅「真壁」. 地質調査所.

杉原 薫(2025) IUGS Heritage Stones と『筑波山塊の花崗岩』. GSJ 地質ニュース, 14, 237-246.

筑波山地域ジオパーク推進協議会 (2025) 筑波山地域ジオパーク. <https://www.tsukuba-geopark.jp/> (閲覧日：2025年8月20日)

つくば市経済部観光推進課 (2023) つくばジオミュージアム. <https://www.city.tsukuba.lg.jp/tourism/tsukubasanngatepark/16848.html> (閲覧日：2025年8月20日)

MORITA Sumito, TOI Miho, FUJIWARA Tomoharu, ASAKAWA Nobuko, SHIMIZU Yuko, FUKUDA Kazuyuki, NAKAZAWA Tsutomu, SEGUCHI Hiroki and TAKEI Yujiro (2026) Geological Museum special exhibition "IUGS Heritage Stone -Tsukuba Massif Granite-".

(受付：2025年8月20日)